

## 会 議 要 旨

会議の名称	令和元年度第1回川越市社会福祉審議会地域福祉専門分科会
開催日時	令和元年7月30日(火) 14時から15時40分まで
開催場所	川越市総合福祉センターオアシス 3階 社会適応訓練室
出席者(委員)氏名(人数)	樋口委員、高橋委員、小野澤委員、岡田委員、荻野委員、原島委員、木内委員、佐藤委員、野村委員、芝波田委員、岡庭委員、本郷委員、村上委員、柴田委員(14名)
欠席者(委員)氏名(人数)	原委員、藤倉委員、島田委員、田中委員(4名)
事務局職員職氏名	市 : 福祉部長、副部長兼福祉推進課長、福祉推進課職員 社協 : 事務局長、地域福祉課長、地域福祉課職員
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 挨拶</li> <li>3 議題               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 会長・副会長の選出</li> <li>(2) 「みんなで作る福祉のまち川越プラン」の進行管理について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>
配布資料	資料1 : 基本方針に基づく平成30年度の取組と今後の課題 資料2 : 地区別福祉プラン(平成30年度)進捗状況 資料3 : みんなで作る福祉のまち川越プラン 平成30年度評価シート 資料4 : みんなで作る福祉のまち川越プラン 平成30年度地区別取組状況 (当日配布) ○地域福祉専門分科会名簿 ○中間評価について ○今年度の日程

議 事 の 経 過

事務局	<p style="text-align: center;"><b>会議の公開についての承認</b></p>
事務局	<p>1 開会</p>
事務局	<p>2 挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●後藤部長挨拶</li> <li>●委員変更報告</li> <li>●委員自己紹介及び事務局職員紹介</li> <li>●過半数の委員出席による会議の成立の報告</li> <li>●資料確認</li> </ul>
事務局 仮議長	<p>3 議題</p> <p>(1)会長・副会長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●会長・副会長の選出にあたり、仮議長に村上委員を選任</li> <li>●事務局提案により、会長に佐藤委員、副会長に芝波田委員を選出</li> <li>●会長・副会長挨拶</li> </ul>
事務局	<p>(2)「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」の進行管理について</p> <p>○資料1・3に基づき、市事務局より説明。</p> <p>(質疑、意見等)</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域福祉計画は行政計画でありながら、地域の方が活動しやすい計画でなければならないので、調整の難しい計画であるが、CSWが昨年度から4人から6人の配置になったことで、順調に計画が推進していると感じた。次期計画では、新たに盛り込むべきもの等、引き続きしっかり検討・調整等を行っていただきたい。</li> </ul>
事務局	<p>○資料2・4に基づき、市社協事務局より説明。</p> <p>(質疑、意見等)</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域福祉計画では、22地区と、9圏域の見せ方があった。そのため、資料4の地域福祉活動計画に関しても、22地区のうち9圏域がどの部分当たるのか分かる見せ方が必要ではないか。また上位計画である地域福祉計画と関連づける必要性もある。CSWの人数が足りているのかという課題があるため人口、高齢化率、地域の特性等総合的に判断して分析していくことが必</li> </ul>

議長	<p>要。次期計画の時に取り入れてほしい。</p> <p>●地域福祉計画は福祉の中で上位計画となっている。そして生活全般が地域福祉の課題としてあげられており、行政に問われる部分も多くなっているため、責任をもってやってほしい。また、地域共生社会の実現を目指して、それぞれの制度が改正している。犯罪者が刑を終え地域で生活していくための地域での環境づくりも問われてきているので、様々な計画の担当課にも次期計画には入ってもらいたい。</p>
委員	<p>●資料2は、単年度としてのまとめは良いが変化が分かりづらい。そのため進捗状況とすると、経年でみていったほうが良い。今までできなかったことがなぜできたのか、あるいはなぜできなかったのか等表せると他の地区にも共有できるため検討してほしい。</p> <p>また、計画全体をとおして、成果指標と目標値の整合性が弱い。成果指標を達成するためにそれぞれの目標があるため、各々の目標が達成されれば、自ずと成果指標が達成し得るという計画にしていくべきである。市民意識調査アンケートに市民活動への参加意向の項目があるのだが、平成27年度から平成30年度比べるとポジティブな回答が下がっている。こうした市民意識や実際参加している人数等も最終目標として規定し、それを達成するために事業を計画していく必要がある。</p>
委員 事務局	<p>●資料2の各地区の課題、コメントの記載はどう行われたのか。 ⇒課題等は資料4の中で○をつけるにあたり、地区別福祉プランの中にさらに細かく課題がある。それらを各地区で評価してもらっており、それらを受け各地区担当がやっているかやっていないか○をつけている。基準は特に決めていないが、地区担当が直接地区の方から話を聞く中で明記しているもので、なるべく地区の方の意見を反映できるよう心掛けている。</p>
議長  事務局	<p>●地区の方というのは誰のことか。また、地区社協の役員で話し合って評価し、それを受け各地区担当が確認し、最終判断をして○をつけているということが良いのか。 ⇒地区社協の構成員が対象となっている。実際に評価するにあたり話し合っているところもあるが、中には役員レベルや会長の意見がそのまま反映されているところもある状況。今後どのように整理するかは課題である。</p>

議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経年の中でどう事業が発展しているのか表せるように進め、地区が毎年計画を見直すことも必要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価の軸をつくるときに、市民意識調査や満足度調査等のアンケートを取ることで意識していくべきである。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他の計画での進め方を参考にするのも必要である。</li> </ul>
事務局	<p>(3)その他（中間評価について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中間評価についてに基づき、市事務局より説明。</li> </ul>
委員	<p>(質疑、意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●成果指標の関連性が見えない。成果指標を上位に掲げそれを達成するためにそれぞれの目標があるという見せ方を検討することが必要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政の機構整備や地域づくりを機能させることが次期計画で問われているので、評価を見える化して、各地区も次年度に向け発展させ実効性のある計画にしていく必要がある</li> </ul>
事務局	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今後の日程について、市事務局より説明。 第2回令和元年8月27日（火）中間評価について 第3回令和元年10月8日（火）基礎調査について 両日ともに総合福祉センターオアシス社会適応訓練で開催予定 第4回は年明け 基礎調査報告の予定である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○その他全体を通して</li> <li>●協議体をつくる時に同じような会議が多いため、会議の整備、施策の整備をしてほしい。次期の計画をたてる際に、同じような計画、同じような施策の場合には同じような構成メンバーのもと進めてもらいたい。</li> </ul>
議長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1層、第2層、生活支援センター、どこが担っているのか。 ⇒第1層に関しては市が実施、所管は地域包括ケア推進課。第2層、生活支援体制整備事業、CSWは社協が担っている。現在9つの包括が14の圏域を担当しているが、それを6名のCSWで担当している状況。</li> </ul>

議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>●CSW の配置人数は検討しなければならないと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各層、生活支援体制整備事業、CSW の関わりは明確にされていないので、地域福祉計画と関連付けて明確にしていくべきである。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他の計画との関連性と合わせ、5 か年計画から6 か年計画にしたほうが効率的機能的によい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家族内の殺人が一番増えている状況。計画の中には防犯という部分があるが、その点も含め考えることが必要である。 また、実際に地区からの評価が○だとしても、その○とした地区の中には、世代間交流を行っても実際はあまり人数が集まらなかったが実施はしたので○とした地区もあるのではないか。また地域住民に事業参加を無理強いしていないか等考え、実際の地域の意識に即した計画にする必要がある。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域福祉課題が広域になってきているので、次期地域福祉計画に反映していくことが必要である</li> </ul>
<p>5 閉会</p>	
<p style="text-align: right;">〔15時40分終了〕</p>	